

～ 埼玉親善大使レポート ～

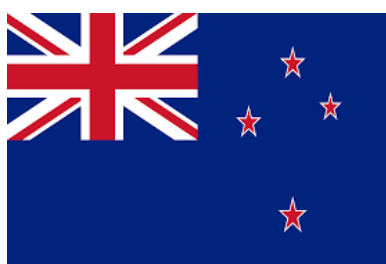
留学先 ニュージーランド

2023 年度 奨学生 A.M

期間 3ヶ月

(1) 留学先紹介

・ニュージーランド ウェリントン



ニュージーランド(NZ)はオーストラリアの東南に位置する南太平洋に浮かぶ島国です。主に北島と南島から成り、面積はほとんど日本と同じくらいです。ですが、人口は日本の1/25ほどしかいません。NZは多民族国家で、先住民であるマオリ族を始め様々な国の人が暮らしています。公用語は英語、マオリ語、手話です。先住民族マオリの言語であるマオリ語はニュージーランドのどこへ行っても使用されています。NZへの留学というと、オークランドという街が日本人にとって一番有名ですが、今回私は、首都のウェリントンに3ヶ月間留学をしてきました。北島の南端部にあり、首都ではありませんが、都会すぎず、ちょっとした街と海や山に囲まれていて、色んな景色が楽しめる素晴らしい街です。初めての留学や治安の良い場所に留学したいという方にとってもおすすめの街です！

・留学先の学校 ヴィクトリア大学

今回私は、大学のプログラムで提携しているヴィクトリア大学という大学に留学させていただきました。

ヴィクトリア大学は、首都ウェリントンにキャンパスがある国内3位という高い評価を持つ国立大学です。キャンパス内はとても広く、図書館を探すことさえ慣れるまで時間がかかりました。NZはコーヒーが好きな人が多いのが有名で、特にウェリントンはコーヒーの文化があり、町中におしゃれなカフェがたくさんあります。ヴィクトリア大学のキャンパスの中にも至る所にカフェがあり、どこにいてもコーヒーの匂いが漂っていました。キャンパスの中でも私の一番のお気に入りの場所は図書館です。9階建てで、生徒が立ち入れるのは6階までですが、



6階からの景色が海、山、街という最高の景色を見ながら勉強することができ、勉強も捗りました。

(2) 学んだこと

・大学にて

今回私はEAP (English for Academic Purposes) コースという大学で英語の4技能をアカデミックに学ぶというプログラムを受講しました。単純に英語を一から学ぶのではなく、ある程度の技能は備えてある前提でのアカデミックな授業だったのでかなり難しかったです。授業では、主に、毎日クラスメイトとディスカッションをしたり、エッセイの書き方や、プレゼンテーションの仕方を学びました。授業だけでなく、授業外の時間に自分で何をどう学習するかという方法も身につけました。今までの自分の英語学習法が効率の良いものではなかったことに気づき大変勉強になりました。英語を英語で学ぶという慣れない環境の中、友達と助け合い学んでいく大切さも学びました。

・異文化交流

授業では、中国、メキシコ、イラン、韓国など様々な国からの留学生と共に過ごしました。15人ほどの少人数制だったので、クラスメイトみんな仲が良く、放課後に皆でご飯に行くこともありました。授業ではもちろん、授業外でもお互いの国の意見交換をしたり、郷土料理を振る舞いあったりし、さまざまな国の文化や背景を学びました。クラス以外では、積極的に大学が運営する国際交流イベントに参加し、大学中の留学生や現地の人と交流をしました。現地の人や留学生と英語で会話することはかなり難しかったです。皆とても優しく、例えば間違った英語を話してしまったとしても、理解してくれるのでだんだんと英語を話すことに恐怖を感じなくなりました。

(3) 埼玉PR活動

私は埼玉県のパブリシティ活動として名物の振る舞い、埼玉県の紹介など主に下記の活動をしました。

・埼玉名物を振る舞う！

① 肉汁うどん

私は祖母からうどんの打ち方を習っていたので、留学前は現地でうどんを一から作り振る舞う予定を立てていました。実際伸ばし棒なども持参し、挑戦してみたのですが、いつものようにうまくできず、結果予備の乾麺を振る舞うこととなってしまいました。またどこかに留学する機会や、海外の方と交流できる機会があったらリベンジしたいなと思います。

肉汁うどんは現地で豚肉とネギを買ってなるべく本物に近づけるようにしました。ルームメイトの子は特につけ汁が気に入った様子でとても喜んでくれました。

② 草加せんべい

自宅の近くにある煎餅屋さんで草加せんべいを購入し現地に持参しました。普段から煎餅を食べる機会がない方にとって違いはわからない様子でしたが、こちらにも気に入ってくれてあっという間になくなっていました。

③ 狭山茶

草加せんべいと一緒に何か出せないかと思い、狭山茶を振る舞いました。本物の緑茶を飲んだことがなかったらしく、彼らにとっては少し苦く感じたようですが、本物のお茶が飲めたことを喜んでくれました。

・クレヨンしんちゃん！

私のルームメイトの友人と私の出身地埼玉県について話していると、その子がクレヨンしんちゃんが好きであることがわかりました。その子はそのアニメの影響で「カスカベ」という地名を知っていました。とてもいい機会だったので、彼女に「春日部市」について情報を共有しました。春日部市には、クレヨンしんちゃんをモチーフにしたゲームセンターやバスがあることを教えると、必ず行く！と彼女は喜んでいました。彼女が日本に来た時は私が春日部市でクレヨンしんちゃんの聖地巡礼を案内すると約束しました。



埼玉の名物を振る舞ったり、有名なものや場所について海外の方に共有することは、自分にとっても埼玉県をより誇らしく感じられる良い機会になりました。色々な国の方が埼玉県に興味を持ってくれて、いつか行きたいと言ってくれたことがとても嬉しく、忘れられない思い出です。これからも自分の足で埼玉県の色々な場所を周りつつ、魅力を発信していきたいと思います。今回は埼玉親善大使として短い期間ではありましたが活動させていただけたことに感謝いたします。この場をお借りしまして、支援していただいた方皆さんにお礼を申し上げます。